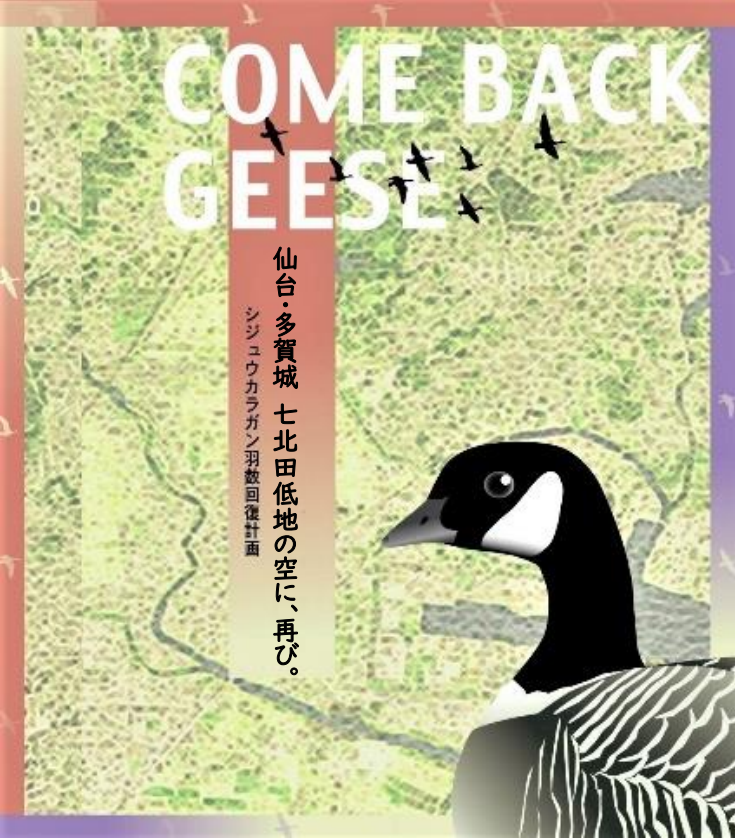


シジュウカラガン復活プロジェクト

since 2022

1. プロジェクト内容

絶滅の可能性があるシジュウカラガンを、1935年頃まで越冬地であった仙台市東部から多賀城市にかけての水田地帯（七北田低地）に呼び戻そうというプロジェクト。



多賀城創建記念
TAGAJO 1300th Anniversary
724 - 2024

宮城県多賀城市

多賀城市は、宮城県のほぼ中央に位置するまち。人口は6万人ほど。
日本三大史跡のひとつである多賀城跡がある。

2. これまでの取り組み

10/19 プロジェクト発足式

「日本雁を保護する会」の呉地正行会長から、これまでの取り組みの成果や最終的な目標について話を聞き、「若い世代が取り組むことに意義があり、期待している」と話があった。



12/7 シジュウカラガン観察会

シジュウカラガンの埭入り観察会が大崎市の化女沼で行われた。観察会には、外国語コース1年生、インターアクト部、留学生が参加し、餌場から戻ってきたシジュウカラガンの群れが姿をあらわすと、生徒たちから歓声があがった。



2. これまでの取り組み

12/14 フォローアップ講座

グリーンインフラの多機能性について知り、実際多賀城市内にあるグリーンインフラの例をグループごと話し合い、シジュウカラガンが戻ってくる環境を整えるためにはどうすれば良いのかを考えた。

1/14 グループ内意見交換

「シジュウカラガン復活プロジェクトの取り組みを広め、地域の人々の心に働きかけていくために必要なこと。自分たちにできること。」についてグループ内で意見交換。

1/25 グループ意見発表

グループ内でまとめた意見をグループごと発表。自分たちでは思いつかなかった意見もたくさん出て、新たに考える視野が広がった。



3. 今後の目標

シジュウカラガンが安心して多賀城市で冬を越せる環境を整え、多賀城市民にとって多賀城市＝シジュウカラガンと思ってもらえるようにする！

意見について

□ 「シジュウカラガンを多賀城に呼び戻す」ために、私たちはどんなことができるか？（※高校生の視点から考える）

SNSを通してたくさんの人にシジュウカラガンについて知ってもらう機会を作る。
そして、交流会などを開いて多賀城市民とも関われる機会を作る。

□ 上記を実行するために、具体的にどんな計画・行動が必要か？

自分たちもシジュウカラガンについての正しい情報を得て、インスタ・Twitterを開設しシジュウカラガンの群れの画像や動画を投稿しより多くの人に知ってもらう。

